

肌荒れ・敏感肌(肌が弱い) 「皮膚バリアを維持する」

肌荒れ・肌が弱い方は、皮膚バリアが慢性的に壊れ、乾燥、紫外線、化粧品などの外部刺激に対して非常に敏感な肌状態になっています。海の森化粧品は、抗炎症剤や保湿剤を用いて一時的に赤み・肌荒れなどの症状を抑える従来のケアとは違い、壊れた皮膚バリアを修復するバリアケアで、外部刺激に強い症状を繰り返さない肌へと導きます。

●肌荒れ/肌が弱い方の肌「皮膚バリアが壊れている」

肌には、乾燥、紫外線、細菌、化粧品などの様々な外部刺激から肌を守る皮膚バリア(皮脂膜・角質層)が備わっていますが、肌荒れ・肌が弱い方の肌では、慢性的に皮膚バリアが壊れています。そのため、角質細胞が反り返って皮膚表面から浮き上がったり、キメが粗くなる、ひび割れることで、カサカサ・ザラザラする。また、皮膚表面の皮脂膜が不十分で、角質も薄くなっているため、空気の乾燥、紫外線、細菌、化粧品などの外部刺激に大変弱く、ちょっとした刺激に対しても反応し、炎症(赤み、腫れ)やヒリヒリ、吹き出物(ブツブツ)などが現れるようになります。

●皮膚バリアが壊れる要因「洗顔/保湿のしすぎ」

皮膚バリアは、主にクレンジングや洗顔剤、乳液・クリーム、美容液、パック、ゲルなどの保湿化粧品に配合の合成界面活性剤やアルコールによって容易に壊れますが、通常肌力(皮脂・汗分泌、ターンオーバー)によって、肌自らの力で壊れた皮膚バリアを修復するため、短期間の使用であれば、肌荒れや肌が弱くなることはありません。ところが、これらの商品を継続的に使用して皮膚バリアを壊し続けると、やがて肌力が疲弊し、肌自らの力で皮膚バリアを修復・維持できなくなることで、カサカサや炎症などのさまざまな症状が繰り返し現れるようになります。

●従来のケア「抗炎症剤や保湿剤で一時的に症状を抑える」

従来のケアでは、抗炎症剤や保湿剤配合の化粧水、乳液・クリーム、美容液、オイル、パック、ゲルなどの保湿化粧品や、低刺激なオーガニック・無添加化粧品を用います。使用後は速やかに症状がおさまる一方、皮膚バリアは壊れたままのため、その効果は一時的。例え低刺激なオーガニック化粧品であっても、ほとんどの商品には合成界面活性剤やアルコール、多量の油分や化学薬剤が配合されているため、継続使用は皮膚バリアを壊したり、肌力低下に拍車をかけるため、ますます症状の悪化につながります。

●海の森化粧品「バリアケアで症状を繰り返さない肌へ」

①含有するリノール酸が壊れた皮膚バリア(特にバリアの要となる角質バリア)を修復する②合成界面活性剤・アルコール不使用③全て自然な原料で、油分を含めた含有成分は微量のため、肌力が正常に機能する皮膚環境を整えます。従来のケアに比べると、速やかに症状を抑える力は弱いですが、徐々に肌自らの力で壊れた皮膚バリアを修復・維持していくため、多少時間はかかっても、症状を繰り返さない、刺激に強い肌になっていくのが特徴です。

※肌荒れは、外的要因と内的要因によって起きる

肌荒れは、洗顔や保湿のしすぎ、ゴシゴシ洗顔、日焼け止め・メイクのしすぎなどによって皮膚バリアが壊れるという外的要因と、運動不足、睡眠不足、偏った食事、ストレス、冷え、たばこなどの生活習慣の乱れによる内的要因によって起こります。自身の肌荒れの原因を特定し、取り除くことが解消のためのポイントです。

